



令和7年度 昭和中学校学校経営ビジョン

校訓「自主・勤勉・協力」

■大分県教育委員会の重点方針

- ① 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進
- ② 社会の変化に対応する教育の展開
- ③ 安心・安全で質の高い教育環境の確保
- ④ 信頼と対話に基づく学校運営の実現

■佐伯教育事務所の指導の重点

- ① 授業改善の徹底
- ② いじめ・不登校対策等の推進
- ③ 体力向上の推進・健康課題への対応
- ④ いじめ・不登校対策等の推進
- ⑤ 学校における働き方改革の推進

■佐伯市教育委員会の指導方針

- 「人が学び、人が活き、人が育つ持続可能な教育」の創造
- ① 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進
 - ② 信頼と協働による学校づくりの推進
 - ③ 人権を尊重するまちづくりの推進

《めざす学校像》

- ① 落ち着いた環境の中で、確かな学力と体力が身に付く学校
- ② あたかく支え合い、けじめがありながら、活力みなぎる学校
- ③ 目配り、気配りの徹底による安心・安全な学校
- ④ 保護者・地域に信頼され、共に協働する開かれた学校

《めざす生徒像》

- 【自主】
のぞましい生活習慣のもと前向きに挑戦する生徒
- 【勤勉】
学力・体力を身につけ、考え、やりきる生徒
- 【協力】
互いの良さや違いを認め、温かく支え合いながら課題解決しようとする生徒

《めざす教職員像》

- ① 生徒にのぞむことをまず自身が体現する健やかな教職員(コミュニケーション・自己管理)
- ② プロとして、自覚とプライドのある教職員(向学研鑽・目標達成・意欲)
- ③ 子ども・保護者によりそう、人権意識が高い教職員
- ④ 教育公務員として社会的身分と責任を自覚している教職員(服務規律遵守)

《願う保護者像》

- ① 自らが健やかで、温かく子どもを見守る保護者
- ② 子どもにのぞむことをまず自分がしてみせ、導く保護者
- ③ 子どもや学校に関心を示し、学校と協働する保護者

《願う地域像》

- ① 温かく子どもを見守る地域
- ② 活力にあふれ、よき範となる地域
- ③ 学校と共に協働する地域

■弥生地区学校運営協議会(CS)の推進

- 保護者や地域住民の願いや意見を学校運営に反映し、「地域と共にある学校」づくりをめざす。
- 育てたい子ども像、目指すべき教育ビジョンを保護者や地域住民と共有し、目標の実現に向けて共に協働していく。(学力・地域愛・人間力)

【学校の教育目標】

ふるさとを愛し、豊かに関わり高め合う、健やかで自立した生徒の育成

【育成を目指す資質・能力】 自主性 説明する力

身につけた基礎・基本をもとに自分の考えを表し関わり高め合うことができる生徒の育成

- ☆定期テストの平均点 70 点以上が 60%以上・40 点以下が 20%以下。
- ☆資料・問題文から情報の読み取り、取り出しができた 80%以上。
- ☆授業中工夫して説明することができた 80%以上。

- ☆ふるさと弥生が好き 90%以上
- ☆体験したことをもとに、出来事や感想を言葉で表すことができた 80%以上。
- ☆総合的な学習の時間や生徒会活動などで仲間と関わりを深めることができた 80%以上。

自分で決めて自分から行動する生徒の育成

- ☆学校が楽しい 85%以上
- ☆自分で決めた生活習慣が身についた 70%以上。
- ☆将来の夢や目標をもっている 80%以上。
- ☆hyperQU 調査における学級満足群の生徒割合 75%以上。

皆で学び合おう「学力の向上」

- 新大分スタンダードを意識した1時間完結の構造的な授業を毎時間実施する。「静かにまつ」指導など授業規律が確立した授業を毎時間実施する。
- 基本語彙などの基礎的事項の定着を確認する場面を設定した授業、朝学習を毎日実施する。
- 単元に2回以上、必然的なペア・グループ学習を設定した授業を実施する。
- 授業者は、単元に一度以上及び期末テスト実施後に、情報の取り出し(わたチェック)に関するスキル習慣づけの指導を行う。
- 授業者は、定期テストに記述式問題を位置づける。
- 月に2回以上「ワークシート通信」で情報の取り出し、要約、感想のまとめをさせる。

互いに磨き合おう「説明する力の育成」

- 「ふるさと」をテーマにした、地域に根ざした様々な体験活動を年間通じて実施する。
- 「昭和フェスタ」「修学旅行」「生徒会活動」など生徒が主体的に取り組む活動を学期に一度以上実施する。
- 体験した後に、感想や気づきを記述させる振り返りを行い、さらに生徒同士で共有させる。

なりたい自分を実現しよう「主体的に取り組む力の育成」

- 職場体験や高校調べ、キャリアノートを活用し、年間通じて計画的なキャリア教育を実施する。
- 望ましい睡眠・生活習慣を定着させるため、「生活習慣定着調査」による計画策定と振り返りをさせる。
- 生活アンケートを毎月実施し、記入のあった生徒に対して学年部がチャンス相談を実施する。
- 人間関係作りプログラムを毎週実施する。